

考えよう!

私たちの



上田地域の救急医療

医療を取り巻く環境の変化は大きく、特に、上田地域の救急医療の維持が難しくなっています。そのような中で、皆さんの健康を守っていくためには、行政や医療機関だけでなく、皆さんの理解や協力が必要です。

今、上田地域の医療は…

上田地域は、長野県内で医師や看護師などの医療従事者数が少なく、特に、医師不足を示す「医師偏在指標」では県内で最も少ない地域となっています。

実際に、皆さんの多くが病气やけがで入院治療を受ける病院では、医師不足が深刻化し替わりがいない難しい状況のなかで救急医療を担っていただいています。

また、このような医師不足が続くなか、医療従事者は厳しい労働環境でのハードワークを強いられっていますが、こうした状況を改善するために、本年4月から「医師の働き方改革(*)」として、「医師の時間外労働上限規制」が適用されます。

医師の働き方改革が行われる背景には、全国的な医師不足や日常的な長時間労働、休日の確保が困難な状態に置かれている医師が多いということが挙げられますが、医師の業務は診察以外にも、手術や病棟回診、患者や家族への病状説明、夜間の急患対応などがあり、このような不規則な勤務時間に長時間労働が加わると疲労が蓄積し、医療ミスにつながる恐れがあります。

誰もが必要な時に、安心して適切な医療を受けられるために、「上手な医療のかかり方」や「かかりつけ医をもつこと」が大切です。



上手な医療のかかり方

体調に異変を感じた場合は、症状が軽いうちに、**できる限り日中の診療時間内に受診するようにしましょう。**

休日や夜間に重症患者の受入れを予定している病院は、平日の日中と診療体制が異なるため、検査も十分にできないことがあります。

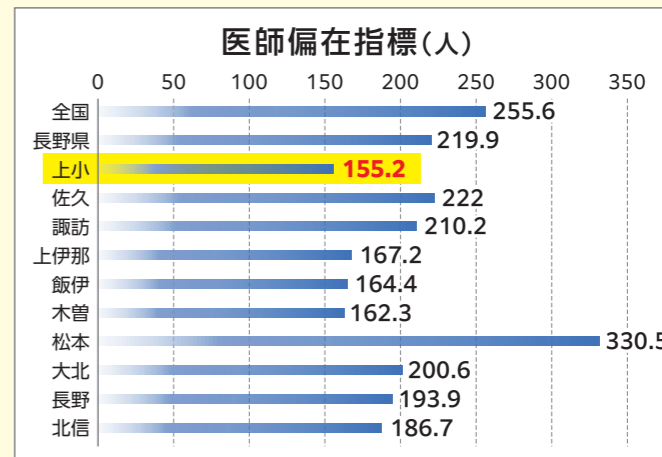
かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局をもちましょう

病气や日頃の健康を不安に感じたり、気になるときに相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」や、身近で相談できる「かかりつけ薬剤師・薬局」を持ち、病气やお薬のこと、健康のことなどの疑問や困った時に、相談できるようにしましょう。

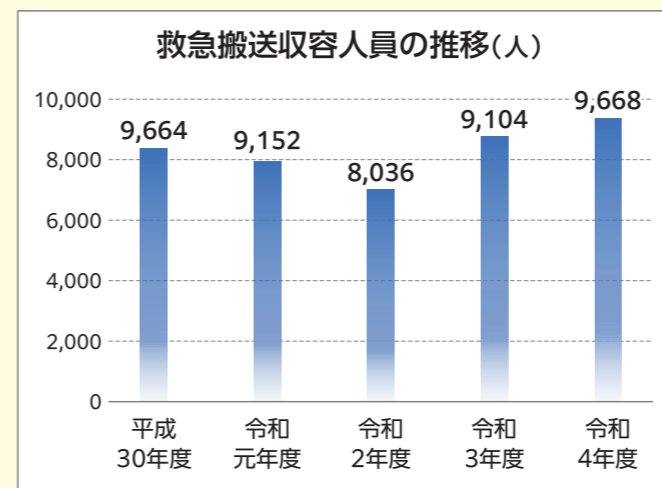


医師不足は深刻な課題

「医師偏在指標」とは、厚生労働省が人口10万人あたりの医師数に地域の医療ニーズ、患者の流入、医師の供給体制や人口動態予測などを考慮し算出した医師の偏りの状態を示す指標です。昨年、上田地域(上小医療圏域)の医師偏在指標は「155.2」で、県内10医療圏域の中で最も低い結果となりました。また、長野県は47都道府県中36位で、医師少数県とされており、上田地域は全国的に見ても医師が不足している地域となります。



救える命を救うために「救急医療」を守りましょう

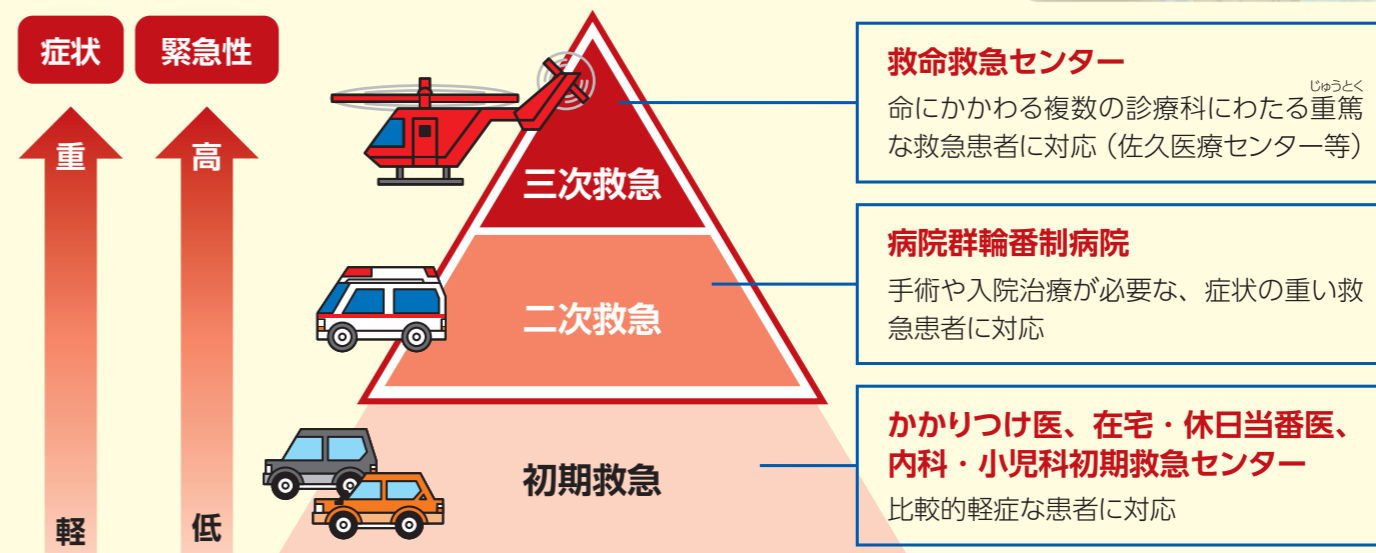


高齢化や新型コロナなどの影響により、救急出動件数及び救急搬送人員は年々増加し、傷病者の搬送先がなかなか決まらないなどの救急搬送困難事案が発生しています。救急車は、けがや急病などで緊急に搬送が必要な傷病者のためのものです。救急車を本当に必要とする人のために、緊急性がない場合は、救急車以外の交通機関等を利用し、医療機関を受診してください。

安心して救急医療を受診できる環境のためには、救急医療を正しく理解し利用するという、皆さん一人ひとりの意識と協力が必要です。大切な命を救うため、救急医療を本当に必要とする人のために、適正な利用にご協力ください。



救急医療体制と医療機関の役割



上田地域の病院群輪番制病院

上田市: 安藤病院、上田病院、鹿教湯病院、小林脳神経外科・神経内科病院、塩田病院、花園病院、丸子中央病院、柳澤病院
東御市: 東御市民病院
長和町: 国保依田窪病院
後方支援病院: 信州上田医療センター